

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

円谷フィールズホールディングス株式会社

東証プライム市場
証券コード 2767

2023年2月

連結

(単位：億円)

	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	対前期増減率
売上高	725.3	896.0	+23.5%
売上総利益	113.7	190.9	+67.9%
販売管理費	90.0	96.2	+6.8%
営業利益	23.6	94.7	+300.5%
経常利益	25.9	97.4	+276.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17.8	56.4	+215.9%

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

事業セグメント別

(単位：億円)

コンテンツ&デジタル事業 セグメント	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	対前期増減率
売上高	65.2	106.6	+63.5%
営業利益	12.2	38.0	+211.8%
PS事業セグメント			
売上高	643.5	776.1	+20.6%
営業利益	10.5	60.6	+477.0%
その他			
売上高	18.1	17.2	△5.3%
営業利益	1.0	0.5	△45.0%
調整額			
売上高	△1.6	△3.9	-
セグメント利益	△0	△4.4	-

※2022年10月3日付で実施した持株会社体制への移行に伴い、当第3四半期連結会計期間より、従来の単一セグメントから、「コンテンツ&デジタル事業」、「PS事業」の2つの報告セグメントに変更しています。
この変更を受け、過年度の数値を一部変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しています。
※千万円未満は切り捨てて表示しています。

コンテンツ & デジタル事業セグメント

Content and digital business segment

2023年3月期3Q累計

円谷プロダクション

(単位：億円)

	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	対前期 増減率
国内MDライセンス収入	11.2	14.1	+25.0%
海外MDライセンス収入	12.9	41.3	+218.9%
うち中国	9.0	37.5	+313.0%
MDライセンス収入合計	24.2	55.4	+128.6%
映像事業収入	10.4	15.8	+52.2%

- 中国での流通網の拡大によりウルトラマン関連の低価格帯商品の販売が急伸

- 『シン・ウルトラマン』映画大ヒット
— Amazon Prime Videoにて独占配信開始(11/18～)

デジタル・フロンティア

売上高	26.7	31.8	+19.0%
営業利益	1.4	2.7	+89.6%

※千万円未満は切り捨てて表示しています。
※MD：マーチャндаイジング

通期業績見通し

コンテンツ&デジタル事業セグメント

(単位：億円)

	2022年3月期 実績(A)	今回発表予想(B) (2月13日発表)	対前期増減率 (B/A)	前回予想(C) (10月24日公表)	対前回予想増減率 (B/C)
売上高	91.0	—	—	—	—
営業利益	14.6	41.0	179.8%	30.0	+36.7%

※2022年10月3日付で実施した持株会社体制への移行に伴い、当第3四半期連結会計期間より、従来の単一セグメントから、「コンテンツ&デジタル事業」、「PS事業」の2つの報告セグメントに変更しています。
この変更を受け、過年度の数値を一部変更しております。
※千万円未満は切り捨てて表示しています。

【10-12月の中国の状況】

- ・12月においては、中国国内におけるゼロコロナ解除の影響のため活動が著しく稼働が落ちた工場が数多くあった。
- ・1月までこの影響は続いているものの2月以降は徐々に回復傾向。
- ・3月には通常の状況に戻る見通し

【中国におけるウルトラマンのポジション】

- ・2022年に中国国内において玩具分野では初めてディズニーを抜きシェアNo.1に
- ・玩具以外の分野でも、ファッション、食品、日用品など戦略的に拡充

【円谷 Q4の状況】

- ・第4四半期においては、戦略的に将来の成長をさらに高めるため『円谷プレゼンテーション』（3月29日）を開催予定
2024年以降に予定されている新規作品群等の紹介をBtoB向けに全世界に向けて情報発信
- ・これによる一時的な費用を第4四半期に見込む

円谷プロダクション

ウルトラマンブランドの他地域への展開

ASEANを中心とした東南アジア

地域の文化・特性を熟知し、信頼のおける
現地企業との連携等、ローカライズを重要
視した取り組みを推進

ASEAN総人口約6.7億人

北米市場

ウルトラマンブランドの
認知度向上に向け、
具体的な取り組みを進行中

PS事業セグメント

Pachinko/pachislot business segment

【2023年3月期 パチンコ・パチスロ販売タイトル】

	第3四半期 累計期間	第4四半期 販売中
パチンコ	<p>P 宇宙戦艦ヤマト 2202 -ONLY ONE-</p> <p>ぱちんこ GANTZ:3 LAST BATTLE</p> <p>P犬夜叉2</p> <p>ぱちんこ ウルトラマンティガ 1500×84</p>	<p>Pゴジラ対エヴァンゲリオン ～G細胞覚醒～</p> <p>(再販) 新世紀エヴァンゲリオン ～未来への咆哮～</p> <p>P真速のガッチャマン</p> <p>P sin 七つの大罪 X-TREME</p>
	<p>月華雅</p> <p>パチスロ犬夜叉</p> <p>パチスロBOØWY</p> <p>パチスロ 真俺の空</p>	<p>パチスロ モンスターハンターワールド： アイスボーン™</p> <p>パチスロ 機動戦士ガンダムユニコーン</p>
計	第3四半期累計 16.3万台	

プライベートブランド機種

通期業績見通し

PS事業セグメント

(単位：億円)

	2022年3月期 実績(A)	今回発表予想(B) (2月13日発表)	対前期増減率 (B/A)	前回予想(C) (10月24日公表)	対前回予想増減率 (B/C)
売上高	837.1	—	—	—	—
営業利益	17.5	76.0	+334.1%	39.0	+94.9%

※2022年10月3日付で実施した持株会社体制への移行に伴い、当第3四半期連結会計期間より、従来の単一セグメントから、「コンテンツ&デジタル事業」、「PS事業」の2つの報告セグメントに変更しています。

この変更を受け、過年度の数値を一部変更しております。

※持株会社化に伴い2023年3月期予想ではPS事業の費用の一部を「調整額」として別建計上しております。表では、比較可能性の観点より、簡便的に前回予想の数値を同様の基準に基づき調整しております。

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

連結

(単位：億円)

	2022年3月期 実績(A)	今回発表予想(B) (2月13日発表)	対前期増減率 (B/A)	前回予想(C) (10月24日公表)	対前回予想 増減率 (B/C)
売上高	949.0	1,170.0	+23.3%	1,050.0	+11.4%
営業利益	34.4	108.0	+213.5%	60.0	+80.0%
経常利益	36.3	110.0	+202.7%	60.0	+83.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24.7	80.0	+223.7%	40.0	+100.0%
1株当たり当期純利益	76円43銭	246円73銭	+222.8%	123円72銭	-

※2022年10月3日付で実施した持株会社体制への移行に伴い、当第3四半期連結会計期間より、従来の単一セグメントから、「コンテンツ&デジタル事業」、「PS事業」の2つの報告セグメントに変更しています。

この変更を受け、過年度の数値を一部変更しております。

※1株当たり当期純利益の対前期増減率および対前回予想増減率は表上計算のうえ、小数点第二位を四捨五入しています。

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

株主還元施策

Shareholder Return Policy

① 配当予想の修正

2023年3月期の期末配当金を前回予想から40円増額し、1株当たり60円に修正

	2023年3月期 (前回予想)	2023年3月期 (今回予想)
1株配当金(年間)	20円	60円

② 株主優待の実施

円谷フィールズホールディングス体制発足記念品の贈呈



免責事項

本資料に掲載されている当社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場における競争状況、取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。